

# 自信を持って

# おいしいメロンを作っているので ぜひ味わってください

## 就農・栽培の経緯

神奈川で船の荷揚げの仕事をした。年ほどしたのち、家を継がねばと地元に戻り就農しました。最初は養蚕をやっていました。昭和60年頃からメロンを手がけるようになりました。その他にもトウモロコシやジャガイモ、キュウリなどの色々な品目を栽培してきましたが、安定して続けているのがメロンですね。

## 苦勞とやりがい

メロンの栽培は手作業が多く、手間がかかります。下を向いて作業するので腰や膝に負担がきて大変です。ダニなどの病害虫への注意も欠かせません。天候は毎年違いますし、メロンの出来も毎年違いま

す。たくさん苦勞がありますが、メロンを収穫してトラックに積み込んだときにはとても達成感があります。このときが、メロンを手がけるなかでいちばん「面白いな」と感じますね。これからも体の続がかぎり、メロンを作っていきたいと思っています。

## おいしいメロンを生産するために

平成30年度のメロン部会での農家表彰において、販売の部で優秀賞をいただきました。販売額を伸ばすコツは、植えたものの面倒を最後まで見て、きっちり収穫すること。途中で手が回らずにいい加減な作業をすると、絶対にうまくいきません。手間のかかるメロンですが、世

## わかみメロン

男鹿市若美地区で栽培されている、糖度14度以上の良食味メロン。青肉の「秋田美人」や赤肉の「レノンレッド」を中心に、県内外へ例年8月中旬頃まで出荷しています。お盆やお中元に、甘い夏の味覚はいかがですか？



話を欠かさないことでもいいものができあがります。自信を持って味のいいものを作っているのだから、甘くておいしいメロンをぜひ味わって食べてください。

